

取り付け後の確認

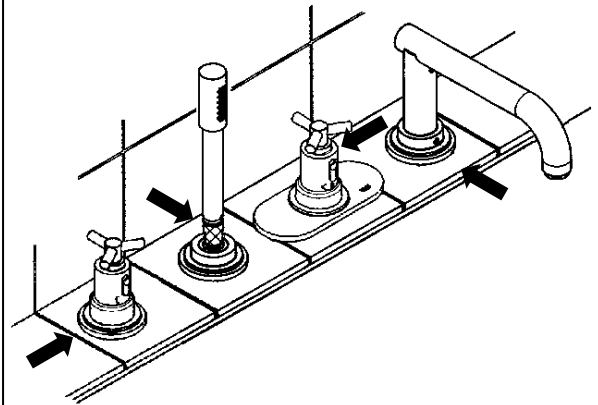
取り付け完了後、必ず下記の項目を確認してください。

1. 接続部の水漏れ (図9参照)

吐水、止水を数回くりかえした後、図9の箇所を点検します。

- 温度ダイヤル接続部。
- 開閉ハンドル接続部。
- 吐水口接続部。
- ホースとシャワーの接続部。

図9

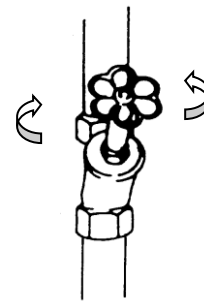


2. 水量・湯温の調節 (図10参照)

お使いいただく現場で、適量・適温が得られるよう、止水栓で調節します。

※湯水の流量を同程度にすると温度調節がしやすくなります。

図10



故障と点検

※取り付け後、万一故障した際は、次の要領で分解および点検を行ってください。

ハンドル

4. きちんと取り付けられているか?

止ビス

5. 十分に締め付けてあるか?

ストップスリーブ

3. きちんと調整されているか?

ホース

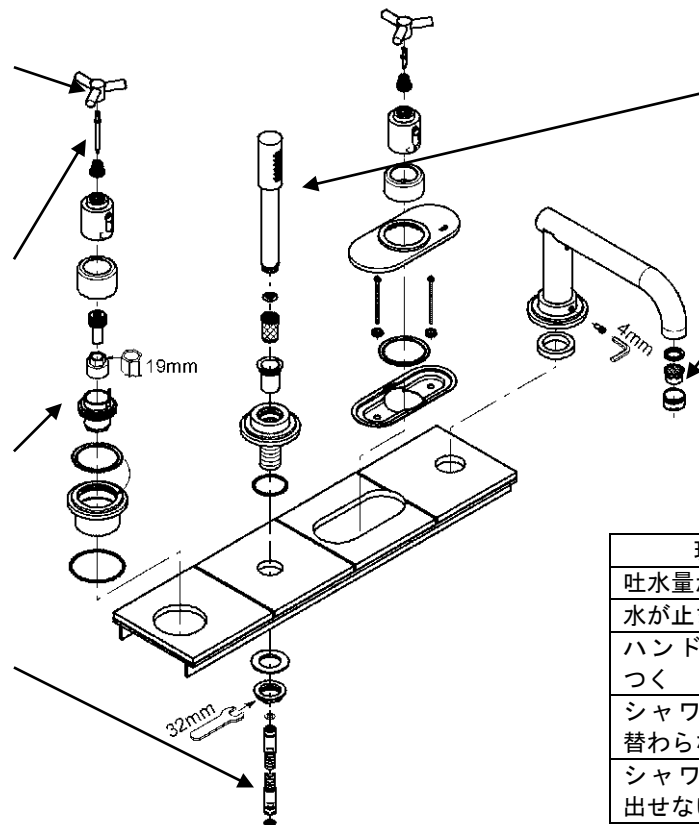
1. 破損・締め付けのゆるみはないか?

シャワー

6. ホースの引っ掛かりはないか?

泡沫器

2. ゴミづまりはないか?



現象	点検箇所
吐水量が少ない	1. 2
水が止まらない	3
ハンドルがガタつく	4. 5
シャワーに切り替わらない	3
シャワーが取り出せない	6

サーモスタットデッキバスシャワー混合栓施工説明書

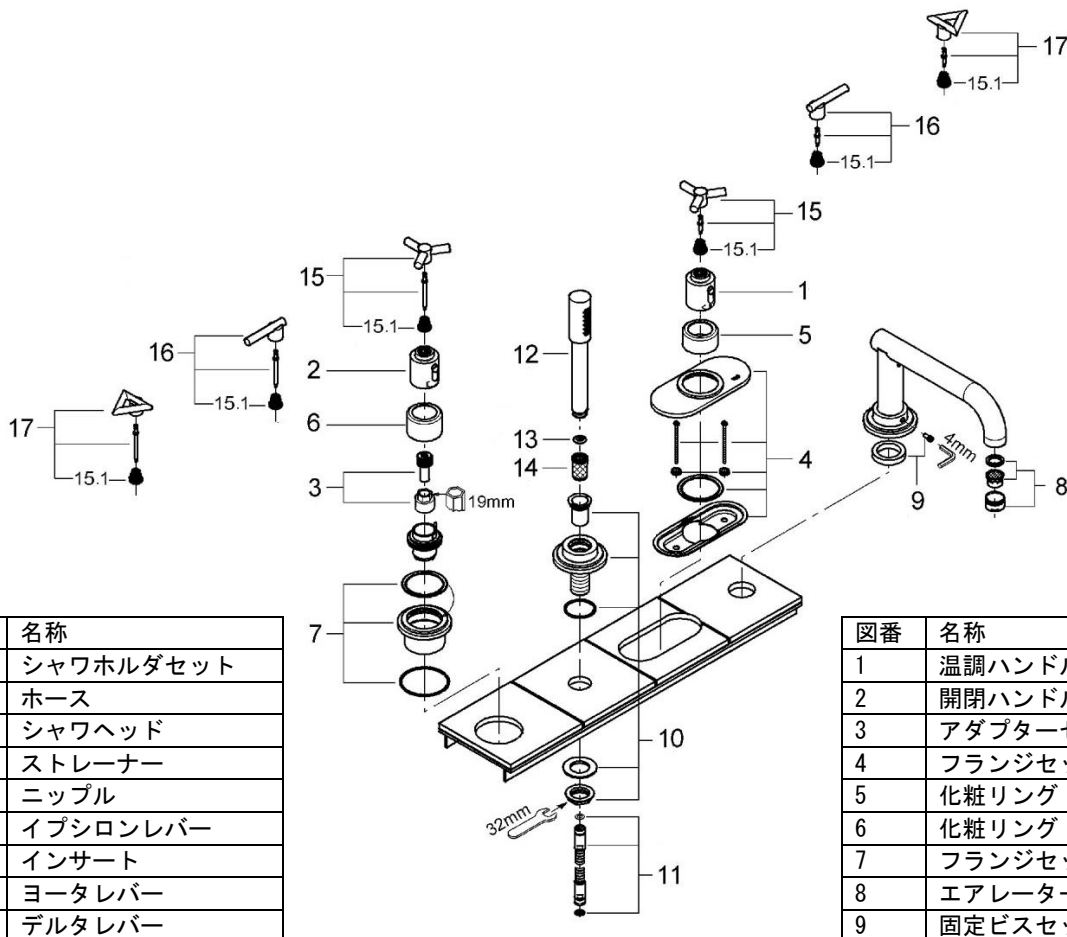
一般地用

アトリオ (イプシロン)	1 9 1 4 1
アトリオ (ヨータ)	1 9 1 4 1 + 4 7 3 2 4 (1 9 1 4 2)
アトリオ (デルタ)	1 9 1 4 1 + 4 7 3 2 5 (1 9 1 4 3)
キアラ	1 9 1 6 2

- 製品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取り付けてください。
 - この施工説明書に記載されていない方法で施工され、それが原因で故障が生じた場合は、商品の保証を致しかねますのでご注意ください。
 - 施工完了後、試験運転を行い、異常が無いことを確認するとともに、「取扱説明書」にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
- また、この説明書は、お客様で保管頂くように依頼してください。

完成図

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なることがあります。



図番	名称
10	シャワホルダセット
11	ホース
12	シャワヘッド
13	ストレーナー
14	ニップル
15	イプシロンレバー
15.1	インサート
16	ヨータレバー
17	デルタレバー

図番	名称
1	温調ハンドル
2	開閉ハンドル
3	アダプターセット
4	フランジセット
5	化粧リング
6	化粧リング
7	フランジセット
8	エアレーター(シストラ)
9	固定ビスセット

※カウンター穴あけ寸法は付属のテンプレートを使用して行ってください。カウンター厚 15mm 以下。

安全上の注意

施工前にこの「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく施工してください。

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

⚠注意

湯水を逆に配管しないでください。

※水を出そうとしても、湯が出てヤケドをすることがあります。

お客様に引き渡す前に凍結が予想される場合は水を抜いておいてください。

寒冷地仕様ではありませんので、水抜きには工具を必要とします。

※凍結破損で漏水し、家財を濡らす財産損害発生のおそれがあります。

施工完了後は、配管接続部分及び水栓から、水漏れの無いこと、ハンドルが閉じていることを確認してください。

※漏水で、家財を濡らす財産損害発生のおそれがあります。

使用条件

● 給水、給湯圧力

◇貯湯式温水器（ボイラー、電気温水器）と組み合わせる場合

流動圧で最低必要圧力(0.05Mpa [0.5kgf/C m²])～(最高圧力0.74Mpa [7.5kgf/C m²])の範囲とします。

※給水・給湯圧力はできるだけ同圧（最大3：1以内）になるようにしてください。

◇ガス給湯器（比例制御式：16号相当）と組み合わせる場合

流動圧で最低必要圧力(A+0.05Mpa [0.5kgf/C m²])～(最高圧力0.74Mpa [7.5kgf/C m²])の範囲とします。給水・給湯圧力はできるだけ同圧（最大3：1以内）になるようにしてください。

※Aはガス給湯器の最低作動圧力です。

※以上は下記の条件を想定して設定されて降ります。

レバーハンドルは全開です。

ガス給湯器との組合せ条件が最も悪い冬期条件（給水温度5℃、吐出温度40℃）によるものです。

給水圧力はガス給湯器直前における流動圧です。

ガス給湯器の温度調節は最高温度（60℃）設定です。

◇給水圧力が0.74Mpa [7.5kgf/C m²]を超える場合は、市販の減圧弁等で適正圧力に減圧してください。

- 水勢の調節及び器具の点検を容易にするために、必ず別途止水栓をご用意ください。
- 給湯に蒸気を使用しないでください。
- 水栓下部を点検出来るように必ず点検窓を設けてください。
- 給湯器からの出湯温度は、使用する温度より10℃以上高くしてください。

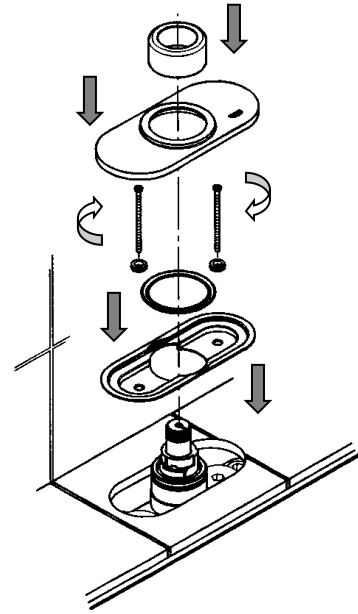
施工前の注意

- 給水配管が右側、給湯配管が左側に配管されていることを確かめてください。
- 給水は上水道に接続してください。
※温泉水など異物を多く含む水には使用できません。
- 開梱、取り付けの際には商品の表面に傷をつけないように十分に注意してください。
- 必ず配管中の異物（ゴミ、砂等）を完全に洗い流してください。
- 寒冷地仕様は不凍栓等を設置した寒冷地仕様配管設備でないとは使用できません。
- 配管接続部を隠ぺいしないでください。必ず水受けを設けスラブへの防水を行ってください。
- 給水・給湯ホース緩み防止の為、給水・給湯配管は動かないように確実に固定してください。

7. サーモスタット部の取り付け (図6参照)

- ①サーモスタットに化粧リングを手でいっぱいまで差し込みます。
- ②サーモスタットにブラケットを手でいっぱいまで差し込みます。ブラケットには上下がありますので、パッキンが付いている面を下側にします。
- ③ブラケットにオーリング付ブッシュを手で差し込み、仮置きします。
- ④、サーモスタットに取付ビスをオーリング付ブッシュ、ブラケットに差し込んでドライバー等で左右均等に右回しにねじ込みます。ブラケットの固定はパッキンが面全体に密着し、尚且つ湾曲しないようにしてください。
- ⑤オーリング付ブッシュにカバーを手で強く押し込み、取り付けます。
 ※化粧リングが入りづらい場合は、オーリングにグリスを塗ってください。
 ※カバーがどうしてもグラつくときは、コーキング等のシール材を使用してください。

図6



8. 温度設定の調整 (図7参照)

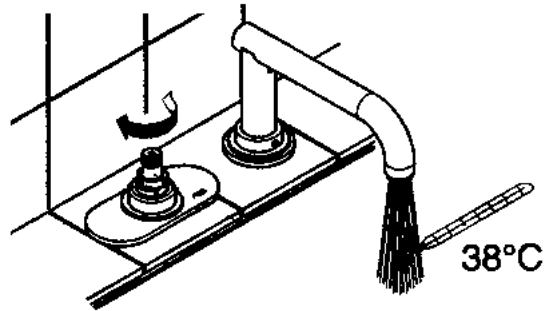
吐出温度と温度ダイヤルの数字が合わないときは、以下の方法で温度設定を調整してください。

- ①開閉ハンドルを全開し、吐出温度を測定してください。
- ②温調インサートを、38℃の温度が得られる位置まで手で左右に回してください。

適温が得られない場合は、以下の原因が考えられます。

- 熱湯と水にしかならない。
逆配管である。
- 熱湯か水しか出ない。
サーモスタットのごみづまり。
- 適温からしばらくすると水になる。
水圧が異常に高い。
- 適温にならない。
給湯温度が低い。

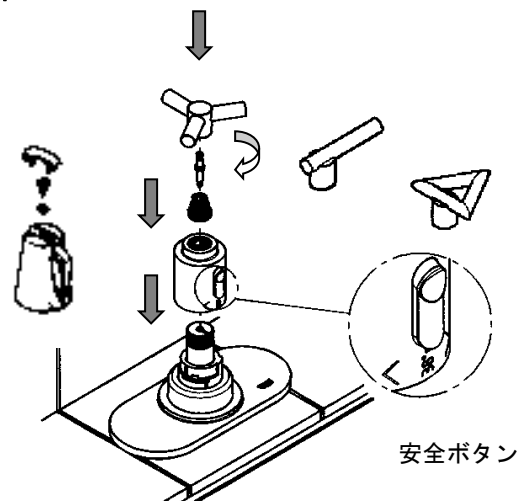
図7



9. 温度ダイヤルの取り付け (図8参照)

- ①調整ネジのギザギザに温度ダイヤルの「38℃」が上に向くようギザギザに合わせ手で差し込みます。
- ②温度ダイヤルにインサートを手ではめ込みます。
19162 (キアラ) にインサートは付属されていません。
- ③インサートに止ビスをドライバー等で右回しにねじ込みます。
19162 (キアラ) は温度ダイヤルに止ビスをドライバー等で右回しにねじ込みます。
- ④レバーはインサートの爪が折れないよう注意しながら真っ直ぐに、確実に、はめ込んでください。レバーの向きを図のようにして差し込んでください。
19162 (キアラ) はキャップを手で差し込んでください。
 ※インサートが抜けない事を確認してください。
 ※温度ダイヤルを取り付ける前に温度調整をしてください。
 ※キャップの爪が折れないように注意してください。

図8

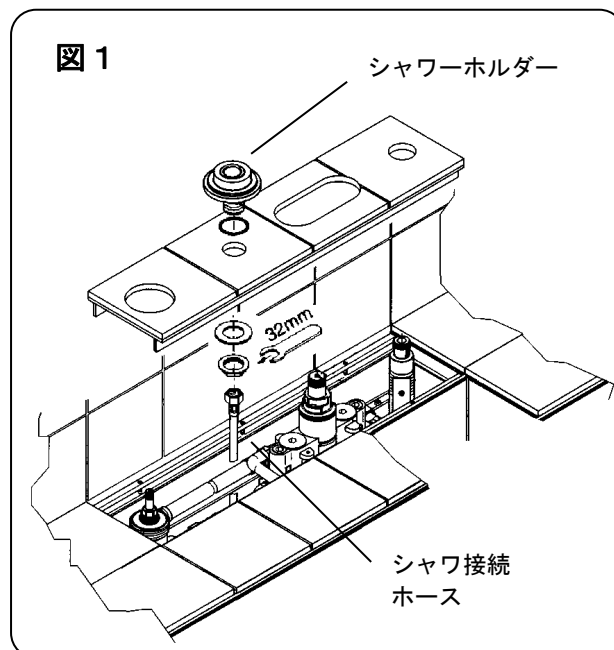


安全ボタン

施工手順

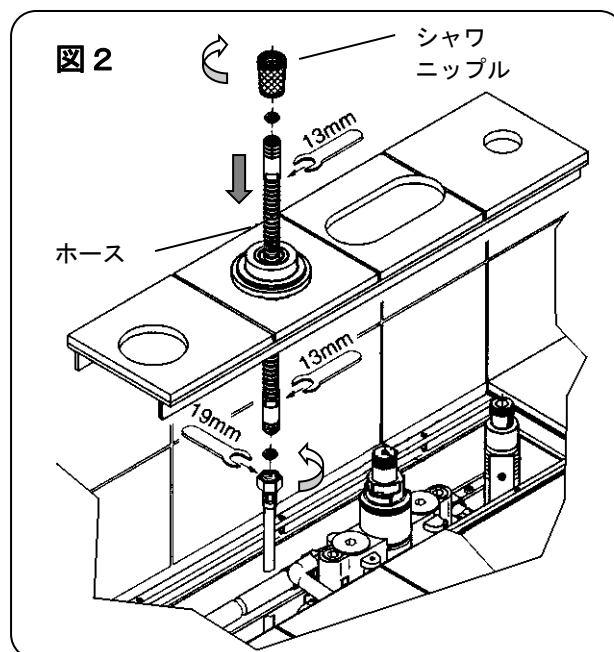
1. シャワーホルダーの取り付け (図1参照)

- ①デッキプレートに化粧カバーのシャワーホルダーを工具 (32mmスパナ) で取り付けます。
- ②埋込ボックスのシャワ接続ホースを取り出します。
※シャワ接続ホースは埋込ボックス内部に戻らないように、テープ等で仮止めしてください。



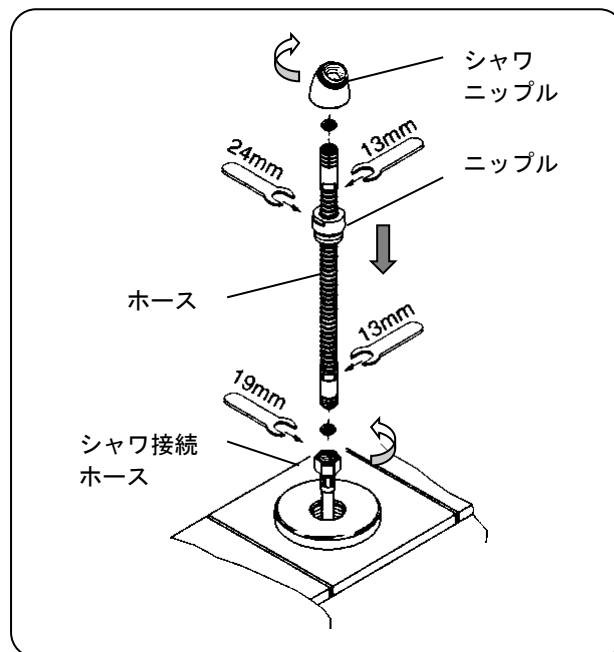
2. ホースの取り付け (図2参照)

- ①ホースをシャワーホルダーの穴に通します。上部にはオーリング付側のねじ部にしてください。
- ②ホースを工具 (13mmスパナ) で固定し、シャワ接続ホースの袋ナットを工具 (19mmスパナ) で右回しにねじ込みます。
- ③ホースを工具 (13mmスパナ) で固定し、シャワーニップルを手で右回しにねじ込みます。
- ④デッキプレートと仕上面の隙間をコーキング等でシールします。
※確実に締め付けてください。



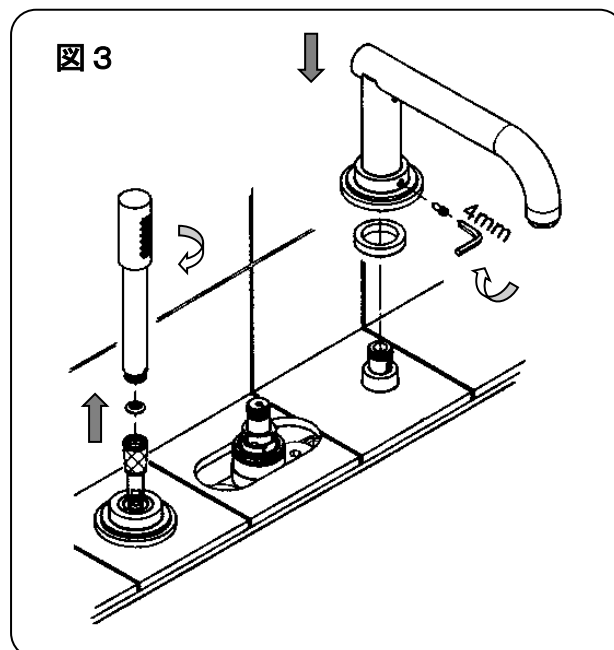
19162 (キアラ) の場合

- ①シャワーホルダーのニップルを工具 (24mmスパナ) で取り外します。
- ②埋込ボックスのシャワ接続ホースをシャワーホルダーの穴に通します。
- ③埋込ボックスのシャワ接続ホースをシャワーホルダーの穴に通します。
- ④ホースを工具 (13mmスパナ) で固定し、シャワ接続ホースの袋ナットを工具 (19mmスパナ) で右回しにねじ込みます。
- ⑤ホースにシャワーホルダーのニップルを差し込みます。
- ⑥ホースを工具 (13mmスパナ) で固定し、シャワーニップルを手で右回しにねじ込みます。
- ⑦デッキプレートと仕上面の隙間をコーキング等でシールします。
※確実に締め付けてください。



3. シャワーの取り付け (図3参照)

- ① シャワーヘッドの入口部分にストレーナーを手で差し込みます。
- ② シャワースプレーヘッドにシャワーヘッドを手で右回しにねじ込みます。
19162 (キアラ) のシャワーヘッドは工具 (22mm スパナ) で右回しにねじ込みます。
※ ニップルにパッキンが付属しているのを確認してください。

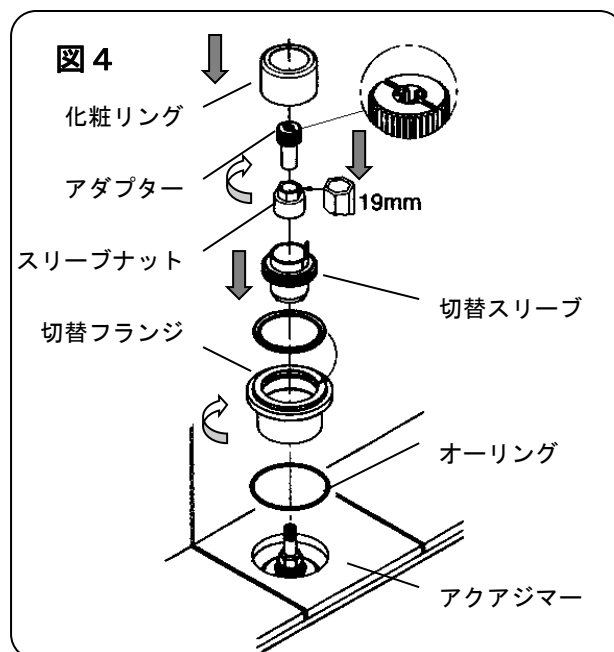


4. 吐水口の取り付け (図3参照)

- ① 吐水口ニップルのオーリングにグリスを塗ります。
- ② ニップルにパッキン、吐水口を手で差し込みます。
- ③ 吐水口に固定ビスを工具 (4mm 六角レンチ) で右回しにねじ込みます
※ 固定ビスの位置はニップルの溝の範囲以内になります。

5. 切替部の取り付け (図4参照)

- ① 切替フランジの内側、外側にオーリングを手ではめ込んで、アクアジマーに切替フランジの外側部分を手で右回しにねじ込み、完全に締め付けます。
- ② アクアジマーに切替スリーブを切ミゾが手前に向くよう手で押し込んで手ではめ込みます。
- ③ アクアジマーにスリーブナットを工具 (19mm ボックスレンチ) 等で右回しにねじ込み、切替スリーブを固定します。
- ④ アクアジマースピンドルのギザギザにアダプターのギザギザに合わせ、アダプターの切り溝が手前に向くよう手で差し込みます。
- ⑤ 切替スリーブに化粧リングを手でいっぱいまで差し込みます。
※ スリーブがはめ込みにくい場合は、手で押さえながらボックスレンチ等筒状のもので押し込んでみてください。
※ アダプターを取り付ける前にスピンドルがマーキングしてある正規の位置にあることを確認してください。
※ 化粧リングが入りづらい場合は、オーリングにグリスを塗ってください。



6. 開閉ハンドルの取り付け (図5参照)

- ① アダプターのギザギザに開閉ハンドルのボタンが手前に向くようギザギザに合わせ手で差し込みます。
- ② 開閉ハンドルにインサートを手ではめ込みます。
19162 (キアラ) にインサートは付属されていません。
- ③ インサートに止ビスをドライバー等で右回しにねじ込みます。
19162 (キアラ) は温度ダイヤルに止ビスをドライバー等で右回しにねじ込みます。
- ④ レバーはインサートの爪が折れないよう注意しながら真っ直ぐに、確実に、はめ込んでください。レバーの向きを図のようにして差し込んでください。
19162 (キアラ) はキャップを手で差し込んでください。
※ インサートが抜けやすいことを確認してください。
※ キャップの爪が折れないように注意してください。

